

## 平成 23 年度事業計画

### 保育事業部

事業部長；小森 恵美／榮木 俊枝

#### 【事業部使命】

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、  
地域の一員として様々な人々とともに暮らす知恵と力を身に着けます。  
そのためにひまわりの保育園は「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

ひまわりの保育園の使命は、地域の中で暮らす人々の中に存在する保育園の持つ意味考え繰り返し、話し合いを重ねる中で出来上がりました。

専門職の職員がいる施設は、地域に暮らす出産前の親や乳幼児を持つ親子が、気軽に足を運ぶ場としても存在します

子どもは生まれながらにして様々な体験を重ねながら成長していきます。成長の過程でその必要な体験が出来る場として、保育園は大きな役割を担っていると考えます。

人間形成の基礎を作る一番大切な乳幼児期に関わる私たち保育士に問われる専門性と知識は非常に大きなものとなっています。一人ひとりの子どもの育ちをしっかりと捉えその発達、成長を見守る保育を行っていかねばなりません。そのために私たちは7つのキーワードの持つ意図を学び、実践する場を大切にしていきます。

#### 【事業部戦略 2011】

- ◇ 保育方針書を読み解き、発達から見える7つのキーワードを通して実践する。
- ◇ 社会人としての5S 組織としての報連相

今年度より保育施設数が8園となります。ここ数年を振り返ってみると、施設整備を中心とした規模面での急成長を遂げてきました。今年度よりは保育面の成長を図るべく、私たちの保育の基本（心）である「保育方針書」を読み解き、子どもの発達・成長を理解して日々の保育へ生かしていくことに取り組めます。新たな2園が加わり、事業部としても節目を迎えた23年度は、各所内会議や園長会で7つのキーワードの持つ意味を保育方針書から読み解き、私たちの保育の基本、立ち返る場を作りたいと思います。また「和と輪と話」を実践するために、まずは職員一人ひとりが社会人としてのビジネスマナーを学び実践する組織となるよう事業部全体で取り組んでいきます。